＜＃1　プレジデンシャルリース伝達＞

＜＃2　ASPAC総決起集会＞

＜構図ポイント＞

1. 全景を写し、何をやっているのかを明確にします。
2. 全景を写す場合主役を画面中央へ顔の向きが左の場合、左の余白をやや多めにとります。
3. 上下余白の比率は1．5:1ですと画面が落ち着きます。
4. バナーや垂れ幕が背景にある場合は人物との距離を置きうズームを使い背景との距離を縮めるとうまく撮れます。＜＃3参照＞
5. 対角線上に配置するのも上手に撮れるポイントです。＜＃2＞
6. 縦位置の場合も同様ですが、印刷物にはあまり使われないかもしれません。

※まずは活き活きとした表情を狙い、息を吐きしっかり構えて撮ることを心がけて委員会メンバーの良い写真をたくさん撮りましょう！
60周年を迎える本年、皆さんが撮った写真が山形青年会議所の歴史を綴る一助になるかもしれませんね。

＜＃3 京都 金閣寺＞